



立地適正化計画に沿う 地域づくりと地域要望について

野村 晴三 議員



質問 公共交通機関を生かした地域づくりの基本的な考え方について伺います。

と考えています。

答 人口減少、少子高齢化が進む中で、地域の活力を維持しながら生活機能を確保し、地域公共交通と連携してコンパクト・プラス・ネットワークという、まちづくりを進めることが必要

質問 成島駅南周辺は計画の中で地域拠点と指定されているが、その内容は

答 地域住民へ日常生活サービスを提供し、その機能の維持・拡充を図り、都市サービスを提供する中心拠点を補完する機能として位置づけています。

質問 市街化調整区域での地区計画や土地利用とは。また、成島駅南側地区の状況はどうなっているのか。

答 地区計画は、地域の目指すまちづくりの方針として、道路や公園等の規模や配置、建物の用途等の整備計画を策定し、地区の環境整備を図るものです。

また、駅南側地区は、大規模指定集落に設定しており、土地利用ガイドラインや地区計画を策定し、地元住民の意見を基に既存集落

と駅周辺の地域を残していきたいと考えています。

質問 成島町区民会館の新築移転について、当局としての支援等を伺います。

答 区民会館は地域コミュニティの重要な活動拠点と認識しています。市の補助金は300万円です。また、自治総合センターの助成金は1500万円、全国で年間約120件、県内では2、3件が採択されており、この採択に向けた支援

援を行いたいと考えます。

質問 新築移転予定地に隣接している土地を公園用地や避難用地として活用したいとの地元要望について、市の見解を伺います。

答 当該用地を市が買収して整備を行うことは、現状では困難ですが、防災面での活用は大変有意義であると認識しています。

今後、地元の皆様と情報共有を行い、協議、調整を図りながら、整備の可能性について検討していきます。

新型コロナウイルス感染症の 対策等について



吉野 高史 議員



質問 PCR検査を受けるための流れと、市内の検査施設及び実績を伺います。

答 一つのルートとして、かかりつけ医に相談し、館林PCR検査センターで検査を受けることができます。

質問 公立館林厚生病院での二次感染防衛体制は。ま

た、感染症に対する医療費は、どこまで公費となるか。

答 厚生病院は、原因を究明し、第三者機関による検証を受け再開しましたので、安心して利用できます。

また、陽性者の入院費は全額公費ですが、退院後の通院費は保険診療となり、自己負担が発生します。

質問 新型コロナウイルス感染症による市内各病院、商工業分野への影響と、支援策について伺います。

答 市内各病院、商工業分野ともに経営は大変厳しいものと認識しています。

国は医療従事者に対し、慰労金の給付を決定しました。市ではワンストップ窓口を設置するとともに、市独自の小規模事業者支援給付金制度を設けるなど、診療所なども含めて利用いただ

いています。なお、産業分

野別に定期的に個別訪問し、実態把握に努めています。

質問 教育分野において、学習指導は計画どおりなのか。また、親が離職した場合の子どもの給食費は。

答 学習指導に関する一学期終了時点での調査では、計画より小学校で約7%、中学校で約12%の遅れがあります。また、給食費は、就学援助制度の中で対象となっており、現在8世帯13人が支給を受けています。

質問 感染症にかかった患者や家族を差別的言動からどのように守るのか。

答 市HP等で正しい情報を発信し、不当な差別・偏見・いじめが起きないように努めていきます。

質問 市長の公用車使用の見直し及びコロナ禍における市長の行政運営方針は。

答 365日勤務と考え、公用車は公私混同せず、適正に使用しています。

今後も感染症対策などの充実を図り、市民の命と健康を守っていきます。